

心臓外科・血管外科

1. 概要

先天性心疾患：NMCにおいて1kgに満たない小さな子たちに救命的な手術を行っています。以前より一貫して将来を見越した胸筋温存による手術を行っています。この術式を取り入れている施設は全国でもごくわずかです。それ以外の症例については他院へお連れして手術を行っています。

後天性心疾患：10月より手術を再開しています。しかしまだまだ手術症例数は少なく、コメディカルの教育にかなりの労力を必要としているのが現状です。

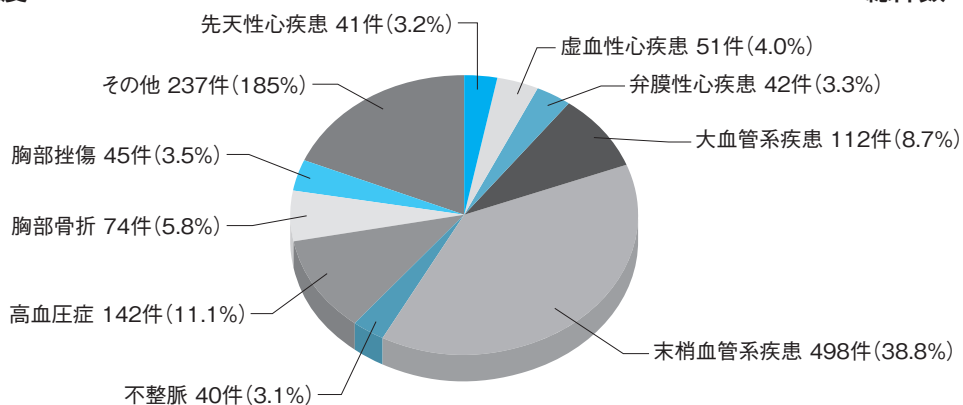
血管外科：閉塞性動脈硬化症の方や下肢静脈瘤手術が増えてきています。特に下肢静脈瘤に対して7月に血管内焼灼手術を導入してからかなり著しいものがあります。術後疼痛がほぼないことが患者さんの満足度を上げているようです。

現在心臓外科医は2名で日常診療を行い血管外科は私が兼任で診療しています。多くの方々の協力を得て日常診療ができています。この場を借りてお礼を申し上げます。

(部長 中山 雅人)

●疾患別頻度

総件数：1,282件



学会発表（医局）

<心臓外科・血管外科>

No.	演 題 名	区分	氏名	学会・研究会名	発表年月日
1	小児症例に対し、集中治療室で人工心肺を使用した経験の検討	筆頭演者	中山 雅人	第41回日本集中治療医学会学術集会	2014/2/27

座長・司会（医局）

<心臓外科・血管外科>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	一般演題	中山 雅人	第5回三遠心臓血管外科セミナー	2014/12/6